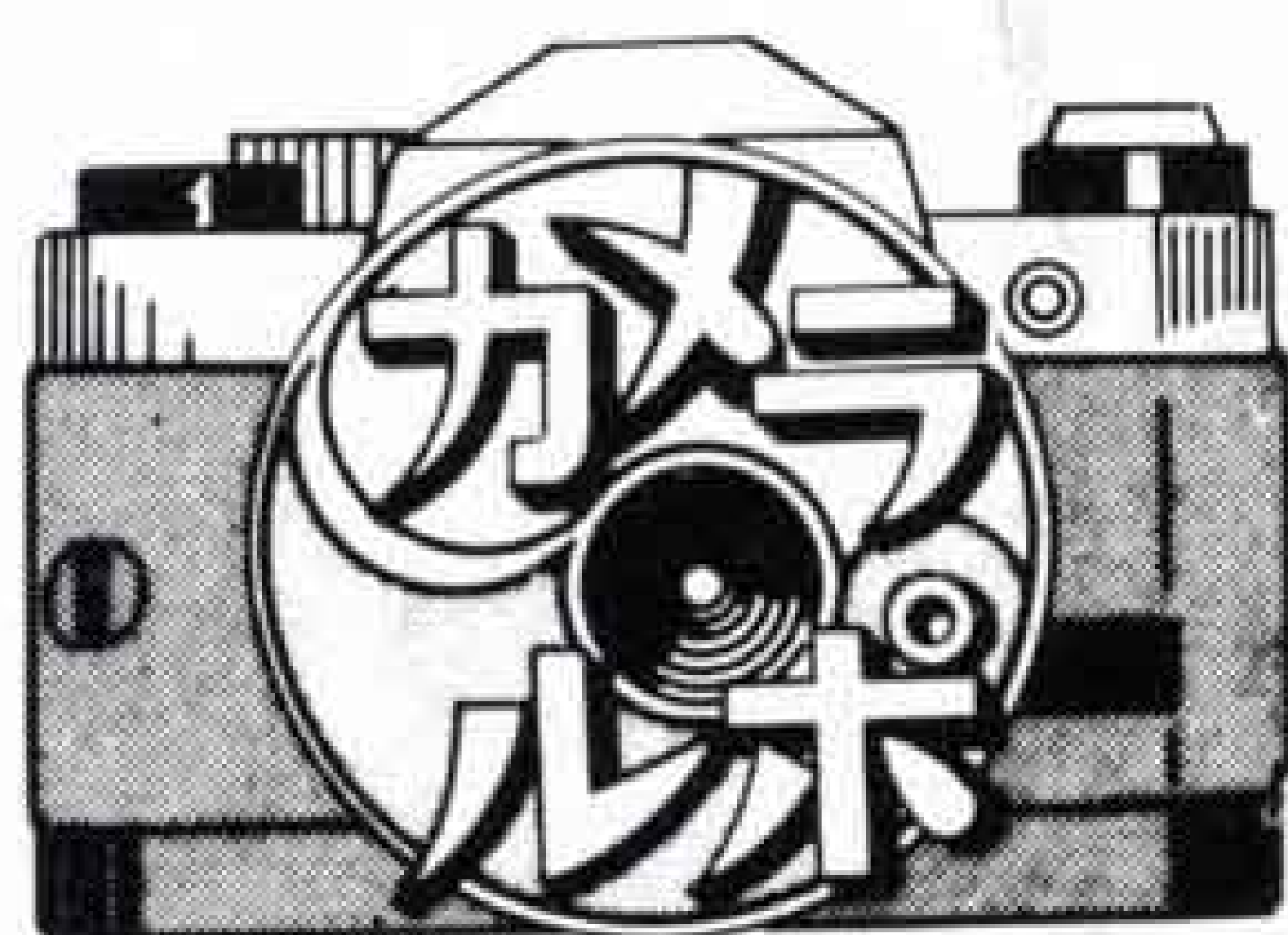


# 新しいごみ処理施設 をご紹介します



△プラットフォーム(ごみ収集車がごみを捨てにくるところです)

▷ごみピット(ごみをためておくところ)



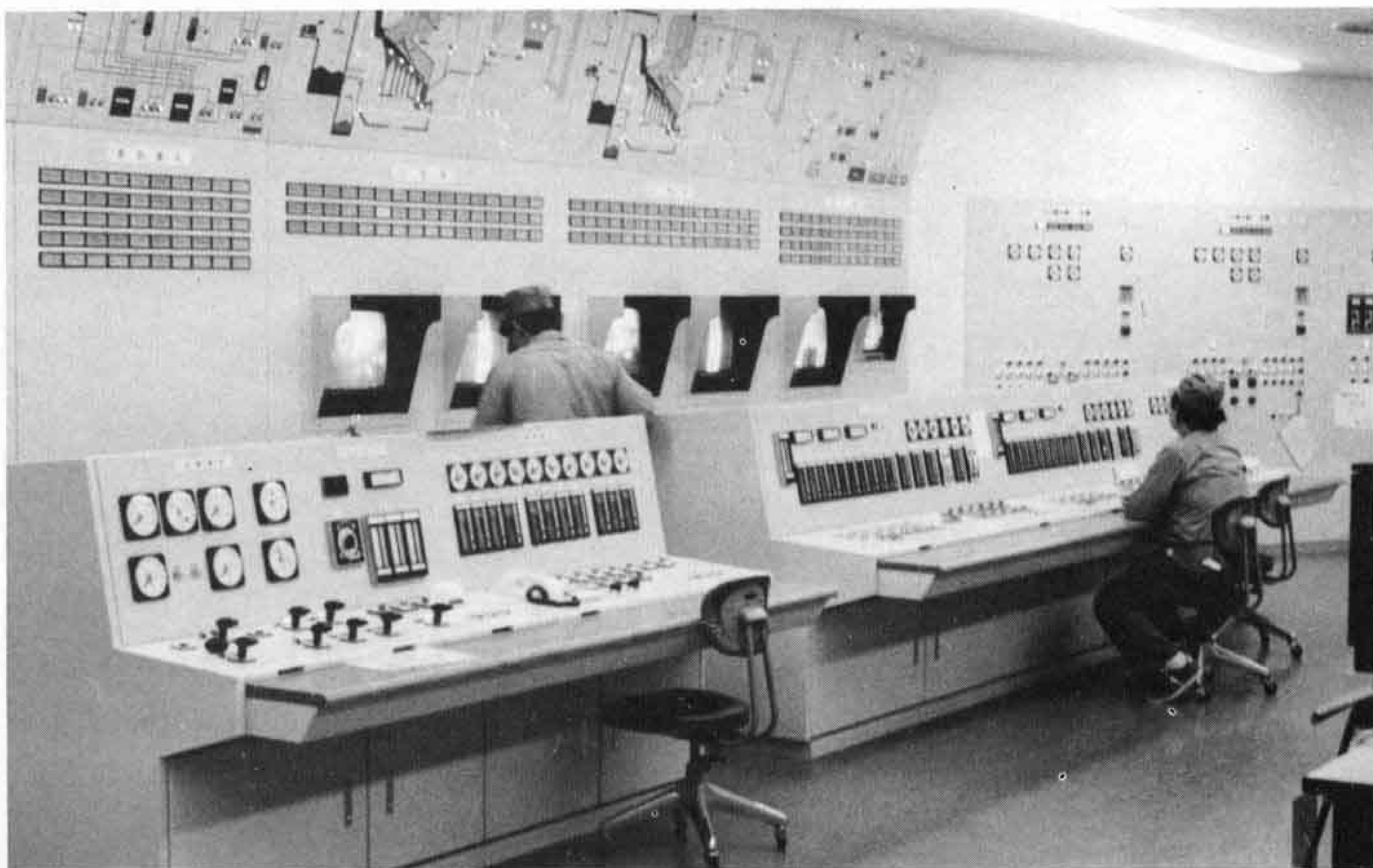
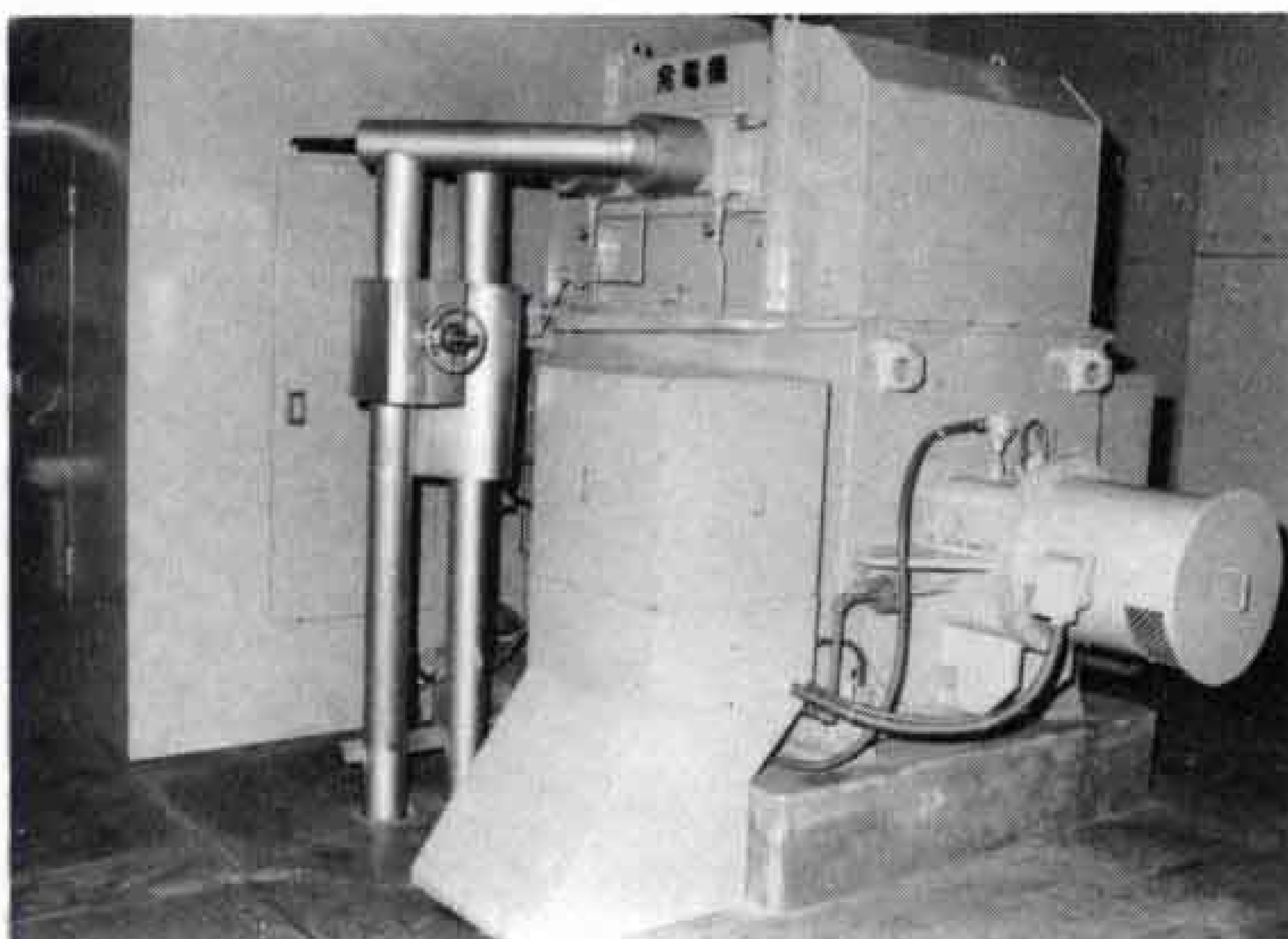
▷炉の内部(一日三百トンのごみを焼却できます)



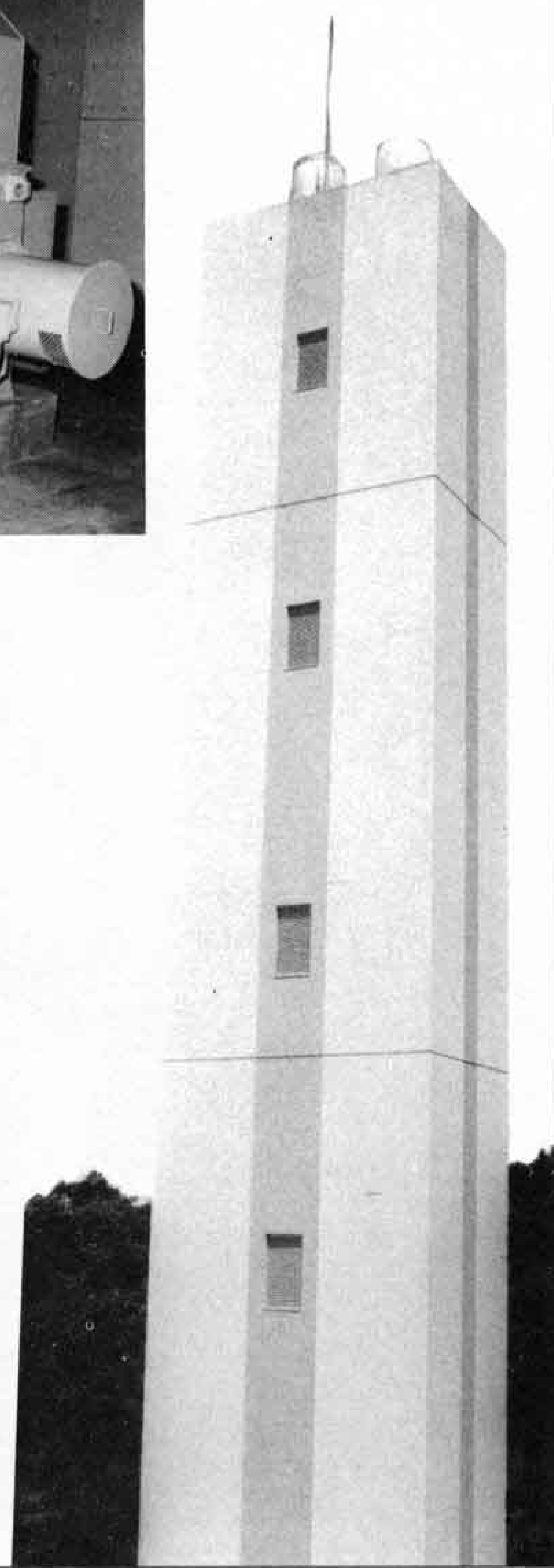
▷クレーン操作室(ごみを焼却炉へ運びます)



▷発電機室(工場内の電気はここでつくります)



△中央制御室(工場内のすべての機械をコントロールします)



1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります

# 郷土が生んだ市民芸術

—富士の型染 第20回記念展—

「富士の型染」第20回記念展が、6月11日～16日までパピーで開かれました。

見事な作品を見て、訪れた市民の中には思わずため息を漏らす人もいました。

今後も、郷土が生んだ市民芸術「富士の型染」を育てていきたいものです。



△「すてきな色合いね…」と作品に見入る市民



△チャリティーバザーも大盛況



## 静岡県知事に地元の 齊藤滋与史氏

六月二十一日行われた静岡県知事選挙で、地元富士市の齊藤滋与史氏（六十七歳）が初当選し、七月七日から齊藤県政がスタートします。齊藤氏は、旧吉原市長、初代富士市長衆議院議員（六期）の間建設大臣を歴任し、地元富士市から選出された静岡県知事としては、齊藤寿夫元県知事に次いで二人目です。

# 緑豊かなまちづくりを目指しグリーンふじ21宣言碑を建立

6月19日、中央公園で「グリーンふじ21宣言碑」の除幕式が行われました。この宣言碑は、本年度を富士市の「緑化元年」とし、21世紀に向けて、緑豊かなまちづくりを進めようとの誓いを宣言したものです。

### グリーンふじ21宣言

富士市は、グリーンふじ21計画のスタートの年である昭和61年度を「緑化元年」とし、次のとおり宣言します。

- 21世紀へ向けて個性と潤いのある緑豊かなまちづくりを計画的に進めます。
- 行政と市民、企業が互いに協力し、自然環境を守り、まちの緑を増やします。
- 富士山と緑の富士市をふるさととして愛し、誇りをもって、子や孫に伝えていきます。

昭和61年3月  
富士市長 渡辺彦太郎



△渡辺市長らの手で宣言碑を除幕



▷大木を図案化した中に宣言文を刻む